

## 第 1 回研究会における主なご意見 (機能整備に関するもの)

### 【都市の魅力向上関係】

- 地域の魅力、都市の魅力の向上に力を入れ、腰を据えて国際観光を進めていくという戦略を明確に打ち出していくことが必要である。
- ハード施設と同時に、受入態勢やプロモーション、都市の魅力向上等が必要である。
- 地域の未来像を見せていくことが重要である。

### 【MICE関係】

- 国際観光の推進には、MICEの視点が大きい。
- 中部地域は、アフターコンベンション機能が弱い。
- 国際展示場と会議場は、地理的に近いところで考える必要がある。
- MICE機能を活かし、世界中から研究者や企業に集まってもらう。

### 【統合型リゾート（IR）関係】

- 愛知県全体の魅力アップとIRをうまく連携させることが求められる。
- 地域の不安を解消するためには、徹底して説明していくプロセスが重要である。
- 日本のポップカルチャーなどの新しい文化は外国でも人気があり、そうした要素も魅力的である。
- 課題に対処できれば、税負担なき公共政策としてのIRは有効である。
- IR施設だけが儲かるのではなく、県全体の観光産業、さらには他産業へも波及し、効果が還元されるように。また、持続可能性のあるIRという視点から計画すべき。

### 【その他】

- MICEを起爆剤に、知多半島の豊富な観光資源や、名古屋、その先の昇龍道までの観光を含め、訪日外国人を誘致していく。
- 国際観光都市に相応しいグローバルな人材育成拠点となることを期待。